

競技委員会より、全日本選手権大会 規定競技種目 「長拳・南拳・ジュニア太極拳」3部門の変更点のお知らせ

第129回理事会および第132回理事会の承認を受けて、下記の事項について変更点をお知らせします。

1) 規定競技部門の套路追加・変更について

『2027年度』より、規定競技部門『長拳』・『南拳』（器械含む）を自選競技部門に変更します（自選套路／難度採点なし）。

つきましては、2025年～2026年の2年間は移行期間として、規定競技部門『長拳』・『南拳』・『ジュニア太極拳3』に新たに長拳には国際第三套路長拳（器械含む・難度採点なし）、南拳には国際第三套路南拳（器械含む・難度採点なし）・ジュニア太極拳3には国際第三套路太極拳（徒手のみ・難度採点なし）をそれぞれの種目に追加採用します。

2027年までに問題点を洗い出してレギュレーションを確立し、同時に自選長拳・器械（難度採点なし）、自選南拳・器械（難度採点なし）にそれぞれ変更する予定です。長拳・南拳種目は今まで通り一人3種目までの出場となります。

ジュニア太極拳3は、2025年に「規定難度太極拳」と種目名を変更し、ジュニア太極拳3または国際第三套路太極拳の2套路から選択する規定套路とします。長拳、南拳と異なり、自選套路への変更はありません。また、出場年齢基準は満18歳以下から、満29歳以下と変更します。

2) 規定南拳種目の出場年齢基準改正

現在、規定長拳の出場年齢基準は満12歳以上となっています。2025年度より規定南拳種目も同様に満12歳以上とする出場年齢基準を設けます。

3) 長拳種目の都道府県予選会実施依頼

長拳種目については、ここ数年エントリー数が増加し、今年度の全日本選手権では男子長拳77名・女子長拳42名となりました。男子については47都道府県数を大幅に超え、大会運営を圧迫している状況です。

規定長拳種目では、都道府県予選を行っていないことが主な原因ですが、特に全国大会レベルに達していないジュニア選手のエントリーが多くみられています。

そこで規定長拳種目に関しても都道府県大会で予選を行い、各種目男女合わせて6名を選抜することを決定しました（選抜方法については各都道府県連盟に一任）。

<今後の流れ>

- ・2025年度度の全日本選手権および予選会（選抜）等は従来通り実施します
- ・2026年度より各都道府県にて、徒手・短器械・長器械種目ともに2027年の全日本選手権大会に向けた予選会（選抜）等を実施します

「2005年国際武術套路競技規則」のご紹介

国際武術連盟（IWUF）が世界大会における競技規則を2005年に改訂したものです。

大会組織機構（審判員組織）や審判員の職責、競技通則、採点方法と基準などが記されています。

価格：**840円**（税込）（送料別、1部180円～）（発行：国際武術連盟／日本語版発行：日本連盟）

お申込み・お問合せは公益社団法人日本武術太極拳連盟まで。

